

令和6年度 福岡県相談支援従事者 現任研修 講義（eラーニング）受講完了確認書（レポート）

レポートは現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、当財団のHPまたは下記 URL よりご提出ください。

<https://hfsz.form.kintoneapp.com/public/r6soudangeninn>

提出期限：令和6年11月20日（水）23時59分必着

[事前評価] ① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

講義（eラーニング）視聴終了日 年 月 日

私は本講義の全動画（約6.5時間）を視聴いたしました。

受講番号： _____ 氏名： _____

科目名		視聴 進捗	レポート 確認欄
記入例	視聴完了後、記入したレポート科目にチェック	✓	✓
【講義1】	障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状		
【講義2-1】	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第1節 意思決定支援に着目した個別相談支援～		
【講義2-2】	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第2節 多職種連携及びチームアプローチ～		
【講義2-3】	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第3節 地域を基盤としたソーシャルワーク～		
【講義3】	実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法		

※研修修了の要件となっておりますので、必ずすべての項目をご記載ください。

受講番号： _____ 氏名： _____

※獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

←理解度が高い

理解度が低い →

科目名	【講義1】	講師名				
	障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状		テキストページ		22～54頁	
獲得目標			自己評価		気づきや理解した点等	
			受講前	受講後		
1	障害福祉制度の経緯について振り返り、最新の法律改正の概要について理解する。					
2	最新の障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する。					
3	障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する。					
4	地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する。					
5	障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容を振り返り、理解を深める。					
6	その他関連制度の状況について理解する。 ・介護保険制度との関係性 ・生活困窮者自立支援制度 ・地域共生社会の構築に向けた取り組み					

科目名	【講義2-1】	講師名				
	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第1節 意思決定支援に着目した個別相談支援～		テキストページ		56～83頁	
獲得目標			自己評価		気づきや理解した点等	
			受講前	受講後		
1	相談支援の実務において、相談支援の基本姿勢等を常に意識した実践ができる。					
2	相談支援において、信頼関係の構築及び自己肯定感・エンパワメントを高めていく支援の必要性を理解し、実践することができる。					
3	相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる。					
4	相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる。					

科目名	【講義 2-2】	講師名		テキスト ページ	84～107頁
	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第2節 多職種連携及びチームアプローチ～				
獲得目標			自己評価		気づきや理解した点等
			受講前	受講後	
1	多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる。				
2	ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる。				
3	事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる。				
4	各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる。				
5	多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる。				
6	多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている。				

科目名	【講義 2-3】	講師名		テキスト ページ	109～124頁
	本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 ～第3節 地域を基盤としたソーシャルワーク～				
獲得目標			自己評価		気づきや理解した点等
			受講前	受講後	
1	地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる				
2	個別支援から地域課題の抽出、地域支援の展開について理解し、実践することができる。				
3	地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用について理解し、実践することができる。				
4	地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる。				
5	地域資源の柔軟な活用、資源ネットワークの必要性について理解し、実践できる。				

科目名	【講義 3】	講師名		テキスト ページ	126～138頁
	実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法				
獲得目標			自己評価		気づきや理解した点等
			受講前	受講後	
1	スーパービジョンの定義や機能、特長について説明することができる				
2	相談支援専門員のスーパービジョンの必要性を説明することができる				
3	事例検討やグループスーパービジョンの必要性を説明することができる				
4	スーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる				